

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業 地域振興策検討委員会第4回会議 会議録（概要版）	
議 題	地域振興策検討委員会第4回会議
日 時	平成27年8月30日（日） 13:00～15:40
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（松崎区未選出）、事務局：6名、関係市町：4名、 コンサル：4名
配付資料	印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第4 回会議資料、地域振興策に関する委員意見書ほか
主 たる 事 項	
<p>1. 開会 会議録署名は加藤副委員長と齋藤委員を指名。</p> <p>2. 会議録について（第3回会議） (1) 次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会第3回会議録（概要版・全文会議録）について、事務局より説明。</p> <p>3. 施設整備基本計画検討委員会第4回会議の報告について (1) 次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会第4回会議の概要について、事務局より説明。 ※リサイクル品の販売にはリユースも含まれることを確認し、施設整備検討委員会において表現の検討を提案。</p> <p>4. 意見書について（次第5と関連させて説明） 5. 地域振興策のアイデア（再審議） (1) 各地域振興策のアイデア P2以降の表欄に「収益性」を追加。 (2) 概要欄などの記述内容を追加及び精査。 (3) 地域に求められる将来像に合致しないものや他のアイデアと統合できる地域振興策については廃案。 (4) 6-12U ターン・I ターン助成、6-13 可搬式蓄電池を項目に追加。 (5) 用語集の拡充 (6) 渡邊委員から提出された意見書「里地里山の重要性和保全上の課題」と「第4回委員会に向けての意見と事務局への調査依頼」について、委員本人より概要説明。 (7) 大谷委員から提出された意見書「地域振興策評価シート」、また、当日配付された意見書「よしだスコーラ（提案）」について、委員本人より概要説明。 ※「よしだスコーラ」については、単なる環境学習ではなく、より幅広い活動に活用する拠点であるとよい。</p> <p>6. 地域振興策の総合パッケージ（案）について (1) 資料及び参考資料については、事務局より説明。 (2) 2-7 贈答米については、贈答に関わらず幅広く捉え、ネーミングや内容を再検討。 (3) 地元特産（贈答米・野菜など）になるようなもの考えることで、ふるさと納税の産品となる。 (4) 「地域振興策の総合パッケージ（案）のイメージ図」に6つ目の項目として、7-2 防災拠点化構想を追記。また、③余暇・交流・イベントに「観光」を追記。 (5) 地域振興策が道の駅を造るための事業になることがないように留意しながら審議を進めることを確認。 (6) 委員会として案を提案し、地元住民からの意見を踏まえブラッシュアップしていく計画で、その中で住民との齟齬がないように進めていくことを確認。</p>	

7. 航空写真を用いて審議

(事務局の説明に沿って、個別の地域振興策のプレートを配置)

●意見

- (1) アクセス道路をどうするかは重要。
- (2) ばらばらにある地域振興策を大きな構想で整備。
※「建物」という意味だけではなく「有形、無形のものを束ねられる機能」としてネーミングを一体化する。
- (3) 効果は直接効果だけの評価では駄目で、コンセプトに沿った体験施設等があるから効果が上がるという視点も必要で、直接効果があるものとないものを並列するのはよくない。
- (4) 事業の初めは強いリーダーシップを持った人が必要。
- (5) 機能として全体構想に『スコーラ』を含める方向で検討。
- (6) 廃案の振興策は「地域振興のアイデア」の表から削除。
- (7) 意見交換会には展開場所別にまとめるのではなく、ミュージアム構想のように大きく括って、場所は新施設展開場所と里地里山を含む集落の2つでまとめる。
※考え方
①コンセプト→②ゾーニング→③ゾーンの基本方針→④施設→⑤動線計画→⑥事業方針の流れが基本であり、現状では①～③でまとめる。
- (8) 関係市町との協議は具体的な話になる次の段階であることを確認。

8. その他

- (1) 先進地視察は第5回会議で審議。
- (2) 9月13日に行う第5回施設整備検討委員会への報告について、地域振興策へ供給可能エネルギーバランスについて審議するための地域振興策のリストを9月5日の意見交換会後に整理し報告する。
- (3) 9月5日(土)の意見交換会は当初予定になかった松崎区も14時から実施。
- (4) 第5回会議9月27日(日)13:00から開催。

9. 閉会